

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和8年1月14日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 安東建設
所在地	〒879-2202 大分県大分市大字白木2の3571番地
代表者役職・氏名	代表取締役社長 上田 真生
担当者連絡先	電話：097-575-1058 (担当：経営企画部 原田 隆弘)
	メール： kkando@andokensetsu.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.andokensetsu.co.jp/index.html

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>弊社は、大正3年4月(1914年)に創業した総合建設業者であり、大分県の港湾、海岸を中心とした海洋土木工事、浚渫工事を始め、一般土木・舗装工事・管工事など社会インフラ整備の公共事業を請負っている。</p>


















3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	資格取得、教育訓練などの社員への支援	・資格取得・講習の斡旋(50件以上)
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	誰もが安心して生活できる環境づくり	・国・海上保安庁・県・市との防災協定に沿った取り組み。(訓練等を含む) ・地域の清掃活動(年2回) ・交通安全運動(年3回)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	新規雇用の促進	・新卒・中途・性別に関わらない雇用 ・職場体験・企業説明会への参加

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・性別、年齢、障害、国籍、出身などによる差別がない体制づくりを、経営陣が積極的に周知している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・就業規則に「ハラスメント防止に関する規定」を整備し、当該規定を遵守するように周知している。 ・相談窓口の設置等によりハラスメント防止する。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・4週8休の推進。 ・有給休暇の取得を行える労働環境の整備。								8.5 8.8									
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・感染症等に関して定期的な感染予防の啓発、罹患時の連絡体制・対処指導の徹底。 ・各現場毎の安全教育・安全パトロールを実施し是正報告をしている。 ・ISO45001認証取得			3					8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・労働者のメンタルヘルスを良好に保つ為、相談窓口を設置している。			3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・女性活躍推進宣言(天分県) ・多様な人材が活躍出来るように施設の整備や個人に寄り添った勤務時間、就業場所等の人員配置を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格取得の費用を全額支給している。 ・資格試験や講習の受講を斡旋している。			4	5.5				8	9								
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・実績、能力、実労働に応じた適正な評価の実施				5.5				8.5		10.2 10.3							
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・定期健康診断にオプション(腫瘍マーカー等)追加。 ・40歳以降、5年毎に人間ドック実施(費用会社負担)。			3					8									
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・産業廃棄物処理要領に基づき、マニフェストを作成し、適正に処理している。										11.6	12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・ガソリンなどの燃料使用量、電気使用料等を把握することにより、エネルギー利用の効率化を行っている。							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・環境配慮型の最新設備を導入し、CO2排出削減に取り組んでいる。							7.2 7.3				12.4	13.3					

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・業務に使用する化学物質を把握し、SDSを入手・周知することで適切な使用に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・工事で生態系に悪影響を及ぼさないよう海水の汚濁防止措置や砂浜の移設等、現場の状況に沿った生態系保護の取り組みを行っている。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・2013年4月19日の取得から今日まで継続してISO14001を取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・自社WEBサイトにて環境への取り組みを掲載することで社内外に開示している。											12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2					13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・建設発生土の再利用。 ・散水車の井戸水利用。											12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・工事の施工管理において施工計画に沿った作業を遵守し、適切な品質を保ち出来形管理を行っている。 ・竣工検査前に社内検査を実施している。			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO9001を2013年4月19日に取得以来、今日まで継続して取得している。										9							
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・自社所有船を有効活用し、海の環境を維持する取り組みを行っている。							6				12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・気象変動や災害に強い製品、工法を採用することで長寿命社会インフラの構築に努めている。 ・国、県、市と災害協定を締結している。 ・災害時の復旧作業に使用する資機材を備えている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・自社保有の船舶を活用するからこそ可能である工事を施工することで港湾・漁港等のインフラ整備に貢献している。					4					9	11	12		14	15	17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地域清掃活動に参加している。 ・交通安全街頭運動に参加している。 ・定期的に地元学生を対象に職場体験を実施している。					4					11				14	15	17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・外注・資材調達等、地元企業の起用。									8	9	11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	・SDGsの取組み達成に向けた目標について社内に周知、共有を図っている。								8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・法令遵守の重要性を業務方針として明記。 ・安全大会・会議等で社員への啓発を行っている。															16		
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・安全環境室の設置、安全環境に関する管理を行っている。															16		
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・施行するにあたり、発注者との打合せを念入りに行い、地域の方々には工事について説明会を行っている。															16	17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISO9001、ISO14001、ISO45001に沿ったリスク管理・評価・マネジメントを確立している。															16		
33	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・ISO9001、ISO14001、ISO45001取得や健康経営事業認定など、企業活動や社員の健康増進に努め、企業の社会的責任に取り組んでいる。															16		
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続力強化計画(中小企業等経営強化法)の認定を受け取組実施中である。									9		11		13.1		16		
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・定年後の継続雇用により若年層への技術伝承に取り組んでいる。 ・後継人材育成も積極的に行っている。									8	9						17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・各カテゴリー毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。